

別紙 1

WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業 静岡県高校生グローバル課題研究ポスターセッション大会 一般参加者募集要項

1 日 時 令和3年2月13日（土）午前9時から正午

2 場 所 県立三島北高等学校 第2体育館

3 主 催 WWLコンソーシアム構想支援事業 事業拠点校 県立三島北高等学校

4 目 的

課題研究に取り組んでいる県内の高校生が一堂に会し、それぞれの課題研究をポスターセッション形式で発表することにより、イノベティブなグローバル人材として必要な発信力と課題発見力の伸長をはかる。さらに、取り組んでいる課題研究の内容を深め合い、学び合う場とする。

5 参加要件

- (1) WWLコンソーシアム構築支援事業による事業拠点校及び事業連携校、静岡県内の同一高等学校または中等教育学校高等部に在学している個人又は同一高校チームによる参加とする。
- (2) 各校からは、最大2チーム（1チーム最大4人）までの応募を可能とする。（校内順位をつける。）ただし、総計40チームを超えた時点で、校内順位2位のチームから抽選とする。
- (3) 課題研究のテーマは、SDGs（別紙2参照）のいずれかに関連したものとする。

6 ポスターセッションについて

- (1) セッションは、A0判のポスター1枚をパネルに貼り、その前で説明する形で実施する。
- (2) 部門は一般参加となる「一般部門」とWWL拠点校・連携校による「WWL部門」を設定する。
- (3) 発表言語は英語又は日本語とする。1回の発表は7分、質疑応答7分とする。
- (4) ポスターは、手書き又は電子媒体の作成でも差し支えないが、A0判を超えないこと。電子媒体で作成する場合は、各校で印刷し、当日持参すること。
- (4) 発表内容のレジュメ等当日配布したいものがある場合は、各自用意する。

7 応募方法

- (1) 別添応募用紙に必要事項を記入し、郵送と電子媒体で提出願います。
- (2) 電子媒体
 - ア WORD形式のまま、提出する。
 - イ 文書名は、「ポスターセッション（学校名）」とする。
2チーム応募する場合は、学校名のあとに校内順位順「1」「2」をつけてください。
 - ウ あて先 mishimakita-h@edu.pref.shizuoka.jp（件名は文書名に合わせてください。）
- (3) 郵送
 - ア 電子媒体を印刷し、校長印を押印のうえ、郵送する。
 - イ あて先 〒411-0033 三島市文教町一丁目3番18号 静岡県立三島北高等学校
（封筒に朱書で「ポスターセッション応募」と記載願います。）
- (4) 応募締切 令和2年10月29日（木）（送付物は10月30日（金）消印有効）

8 その他

- (1) 実施に当たっての詳細は、各校の応募担当者宛に連絡する。
- (2) 問い合わせ先 静岡県立三島北高等学校 教頭 菊地 正博
電話:055-986-0107 e-mail:mishimakita-h@edu.pref.shizuoka.jp

記載例

静岡県高校生グローバル課題研究ポスターセッション大会応募用紙

標記大会への参加について、募集要項を確認のうえ、下記のとおり申し込みます。

(同一校から2チーム応募する場合の校内順位 1 位)

| 基本情報 | | | | |
|---|------------------------------------|--|--------------------------------|----|
| 学校名 | 静岡県立三島北高等学校 | | | |
| チーム | チーム名 | チーム源兵衛川 | | |
| | メンバー名 (学年) | 三島 菊子(2年) 北森 紫苑(2年) | | |
| | | 清川 蛍(2年) 湧井 翡翠(2年) | | |
| 部門 | いずれかに□ | <input checked="" type="checkbox"/> 一般部門 | <input type="checkbox"/> WWL部門 | |
| 担当者 | 氏名 | 松野 真理 | 職名 | 教諭 |
| 電話番号 | 055-986-0107 | | | |
| ファクス番号 | 055-986-2480 | | | |
| メール | mishimakita-h@edu.pref.shizuoka.jp | | | |
| 課題研究 | | | | |
| 課題研究名 | 水問題への関心を高める教育 | | | |
| 関連するSDGs (最大3目標) | 番号 | 目標(スローガン) | | |
| | 3 | すべての人に健康と福祉を | | |
| | 4 | 質の高い教育をみんなに | | |
| 6 | 安全な水とトイレを世界中に | | | |
| 課題研究要旨(当日配付するプログラム用です。100~200字程度で簡潔にお願いします。) | | | | |
| カンボジアのトンレサップ湖では、水質汚染が問題となっています。私たちは、その解決に向けて、子供への教育が最も効果的ではないかと考え、子供向けのワークショップでつかうゲーム形式の教材を考えました。近隣の小学校児童を対象に試験的に実施し、改善点も見つかりました。その開発の様子を紹介します。(143字) | | | | |

令和2年 月 日

学校名

校長名



別紙2

持続可能な開発目標（SDGs）

| 目標 | 持続可能な開発目標（SDGs）外務省仮訳 | スローガン |
|------|--|--------------------|
| 目標1 | あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる | 貧困をなくそう |
| 目標2 | 飢餓を終わらせ、保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する | 飢餓をゼロに |
| 目標3 | あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する | すべての人に健康と福祉を |
| 目標4 | すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する | 質の高い教育をみんなに |
| 目標5 | ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び少女の能力強化を行う | ジェンダー平等を実現しよう |
| 目標6 | すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する | 安全な水とトイレを世界中に |
| 目標7 | すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する | エネルギーをみんなにそしてクリーンに |
| 目標8 | 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する | 働きがいも経済成長も |
| 目標9 | 強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る | 産業と技術革新の基盤をつくろう |
| 目標10 | 各国内及び各国間の不平等を是正する | 人や国の不平等をなくそう |
| 目標11 | 包摂的で安全かつ回復力があり、持続可能な都市及び人間居住を実現する | 住み続けられる町づくりを |
| 目標12 | 持続可能な生産と消費の形態を確保する | つくる責任つかう責任 |
| 目標13 | 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる | 気候変動に具体的な対策を |
| 目標14 | 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する | 海の豊かさを守ろう |
| 目標15 | 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する | 陸の豊かさも守ろう |
| 目標16 | 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する | 平和と公正をすべての人に |
| 目標17 | 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバルパートナーシップを活性化する | パートナーシップで目標を達成しよう |

※ 応募用紙には、目標番号とスローガンを記入してください。